

(議事概要)

第2回「飼い主のためのペットフード・ガイドライン」改訂に係る有識者ヒアリング

開催日時：平成30年5月28日(月) 15:00～17:30

開催場所：馬事畜産会館2階第4会議室

議事概要：

委員から寄せられた修正稿をもとに検討。再検討又は訂正する事項の概要は以下のとおり。

全体に係る事項として数値を示している部分は出典を再確認。出典が明確とならない数値は削除する。

● 必要な栄養素の違い

AAFCOは成分の目安量を示しており、目安とされるエネルギー量を充足するためのたん白質、脂質、炭水化物の構成比を示すことは可能。ただし、炭水化物は100からたん白質および脂質を減じた値とする。より良い示し方について再検討。

● 注意が必要なもの、与えすぎないほうが良いもの

砂糖を削除する案となっているが、猫はフルクトースを代謝することが出来ず、腎臓から排出されるため、腎臓病を誘発する要因になり得ることから、記載するか否か再検討。

● 市販のペットフード

目的別分類の間食で「畜肉類のジャーキータイプ」とあるが、畜肉類は原材料の主になっていないので「畜肉類」を削除。

ペットフードのタイプ別分類は「水分含量による分類」とする。

● 表示の見方

イラストの商品名と表示例の商品名を統一する。また、架空の商品名であっても、現存又は今後販売される商品名との重複を避けるため、具体的な商品名は記載せず、「〇〇フード」とする。

ペットフード安全法に基づく表示の⑤から事業者の種別(輸入、製造、販売)が抜けているので追記。

● 痩せすぎ、太りすぎにしないために

市販のペットフードに表示されている給与量は、理想体重時の給与量の目安を示していることから、ペットの様子を見て増減することが必要である旨の記載を追加。

飼い主の参考となるのは必要なカロリーではなく、フードの量を算出することなので、そのための計算例を示す。

定期的に体重測定を行うことが重要。通常は週 1 回程度で十分と思われる。

体重測定の方法を写真又はイラストで示す。

● Q&A

次回のヒアリングまでにコメントをいただけるよう各委員に依頼